

## NTN株式会社

私が取り組んでいる「なめらか」は調達業務と育児の両立を通じて、持続可能な社会の発展に貢献することです。

調達部門は「公平・公正」「法令遵守」「グリーン調達」「共存共栄」の観点のもと、取引先さまとの信頼関係を構築し、調達活動を行っています。品質や価格、納期などのバランスはもちろん、環境に配慮した製品を選択することで、地球環境にやさしい社会の実現にも貢献したいと考えています。

効率的に仕事をこなすと同時に、育児にも注力しています。私には4歳と8歳の子どもがおり、仕事後に子どもと一緒に絵本を読んだり、勉強したり、子どもたちと過ごす時間を大切にしています。未来の社会を担う子どもたちの健康な身体、優しい、思いやりのある心を育てることが、私のもうひとつの社会への貢献だと考えています。



SCM戦略本部 調達部  
CVJグループ担当課長  
崔 丹丹

## NTN Bearing Thailand Co., Ltd. (タイ販売子会社)

「なめらか」について、私は日常生活や業務の中で問題につながる行動を最小化し、人々と良好な関係や協力体制を築くことで、スムーズに生活し、働くことが重要であると実感しています。

ここ数年間、アフターマーケット販売マネージャーとして、大きな需給変動、激化する競争市場、コスト上昇、値上げ活動などさまざまな課題に直面してきました。これらの課題や困難に対処するため、私は「なめらか」の概念を取り入れ、お客さまや社内とスムーズに連携できるようにしました。

例えば、代理店との誠実で真摯なコミュニケーションにより、代理店の販売力とNTNによる技術サポートや在庫管理を調和させることで、代理店が購入計画を達成し市場シェアを拡大できるよう支援しています。業務の遂行と持続可能な成長のためには、敬意、調和、責任が基本であり重要であると確信しています。



アフターマーケット販売部門  
アフターマーケット販売マネージャー  
キティタット・ラソーン

# 私たちが目指す「なめらかな社会」

## SNR CEVENNES (フランス製造子会社)

企業の社会的責任(CSR)活動の一環として、障がい者雇用を維持・促進しています。労働支援機関・サービスを提供するESATで障がい者が就労経験を積んだ後、3世代ハブベアリングの生産ラインで全面的に活躍している事例もあります。現在、製造部門で積極的に業務に従事する従業員からの声をお届けします。

NTNの仕事に満足しており、誇りに感じています。障がい者であっても、正社員になることが可能です。タブレットなどのデバイスを使えば何でもできます！怖がらずに、私のように挑戦してみてください！



クルビヤック工場  
第3世代ハブベアリング製作課  
ジャン・フランソワ・ボアソナード

## NTN Bearing Corp. of America (米国販売子会社)

自動車業界がICE(内燃エンジン車)からEV(電気自動車)へ大きく移行する中、私たちは企業理念やNTNスピリットを実践し、事業活動を推進することで重要な役割を担うことができます。

私たち技術開発部門はお客さまの声に耳を傾け、EVに求められる技術要件を満たし、さらに期待を上回るため、いかにNTNの最高の技術力を提供できるかを日々追求しており、軽量化、高効率、長寿命がその鍵を握ると考えています。挑戦、協働、約束という3つのNTNスピリットの実践を通して技術開発をリードし、すべての人にとっての「なめらかな社会」の実現に主要自動車サプライヤーとして貢献できるよう、社内およびお客さまとの協働を推進していきます。



自動車OEM事業ユニット  
技術部長  
エリック ウィップル

## CONTENTS

### NTNを知る

- 5 挑戦と発展の歴史
- 7 育んだ事業
- 11 財務・非財務ハイライト

### 価値創造ストーリー

- 13 マネジメント・コミットメント
- 17 価値創造プロセス
- 19 マテリアリティ
- 21 リスク・機会と対応策
- 23 NTNの資本と強み
- 25 バリューチェーン上の強みとマテリアリティの取り組み

### 「DRIVE NTN100」Phase 2

- 27 経営計画の振り返り

- 29 NTNを取り巻く事業環境
- 30 事業ポートフォリオ・商品ポートフォリオの再構築
- 31 研究開発
- 33 事業戦略
- 39 固定費の増加抑制／資産回転率の向上
- 41 比例費の削減／調達改革
- 42 DXの推進
- 43 CFOメッセージ

### サステナビリティ経営

- 47 「なめらかな社会」の実現に向けて
- 50 脱炭素社会への貢献
- 53 カーボンニュートラルの実現
- 57 豊かなくらしへの貢献
- 58 環境保護

- 60 持続可能なサプライチェーン
- 62 豊かな人づくり
- 69 ガバナンス
- 79 役員紹介
- 83 社外取締役 会談
- 87 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 89 第9回 ステークホルダー・ダイアログ

### NTNグループ情報

- 93 11年間財務・非財務サマリー
- 95 連結財務諸表
- 99 グローバルネットワーク
- 101 第三者意見
- 102 株式情報
- 103 SASB情報

### 編集方針

当社グループは、株主・投資家の皆さま、お客さま、取引先さま、国際社会、地域社会の皆さま、従業員との信頼関係の構築と地球環境への貢献が、企業価値の向上につながると考えています。当社グループの事業活動やサステナビリティ活動をステークホルダーの皆さまに報告するため、2010年3月期より「NTNレポート(統合報告書)」を発行しています。本レポートをステークホルダーの皆さまとの対話ツールとして活用し、当社への理解を深めていただくことで「なめらかな社会」の実現に寄与してまいります。

### 「NTNレポート2023」の制作コンセプト

2021年4月に就任した鶴岡社長の新体制でスタートした3年間の中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2は、財務体質の強化によるNTNの再生を目指しています。2023年3月期は、世界的な半導体不足の影響が継続し、原材料やエネルギー、物流費などの異例のコストインフレにより厳しい事業環境の中、業績は着実に改善し、前期比で増収増益となりましたが、営業利益は公表値に対して未達となりました。最終年も不返転の決意で各施策を遂行いたします。また、中長期の持続的な成長に向けて「なめらかな社会」の実現に向けたロードマップを軸にESG経営を推進しており、気候変動や人的資本に関する取り組みなどを強化しております。本レポートではこれらの内容をご説明します。

### 対象期間と範囲

- 対象期間** 2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)一部2024年3月期の活動も含まれます。
- 対象範囲** NTNグループ一部NTN単体の報告も含まれます。

### 参照ガイドライン

- 以下のガイドラインなどを参考に情報開示の充実を図っています。
- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」
- ・SASB(米国サステナビリティ会計基準審議会)スタンダード
- ・GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポート・スタンダード」<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/gri.html>

### 免責事項

本レポートには、当社の将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、本レポートで述べられている見通しと異なる可能性があることをご理解くださいますようお願いいたします。

### NTNのコミュニケーション



本レポートは、財務・非財務情報の中でも特に重要度が高い事柄を中心に掲載しています。財務情報についての詳細は、有価証券報告書や決算説明会資料をご確認ください。また、サステナビリティ活動については、Webサイトにて取り組みを詳しく紹介しています。

<https://www.ntn.co.jp/japan/index.html>